



$\Omega \neq \infty$

小さな発見

宇宙の果てが見たいなら

zorol2

数直線って続きますよね、どこまでも。。。

ゴールは遥かかなた・・・・・・・・

・・・って思いがちですが、そもそも果て自体ありませんよね。

そこで、「無限」は数直線の果ての果てに在る・・・と、考え
たくなりますが、そこに無限はありません。

何故なら、「在る」つまり「到達」したということは、そこが
「ゴール (Ω)」だということだからです。

では、そのゴール・プラス 1 は何だ？ ということに。。。

「 ∞ 」は数直線上の数ではなく、数直線を在らしめている場です。
数がどんなに大きくなろうと、その居場所を提供してやる場です。
だからでしょうか、「無限」の別名が「無数」なのは？

ライト

「右」を英語で「right」って言いますよね。

「right」： 右・正しい

何故、意味がダブっているのか？

偶然じゃなく、人類は衛生上、食べ物を口に運ぶのは右手で、それ以外は、残りの(つまり、left)左手で、というルールを作り、右手を「正しい手」として聖別したのだ・・・と。

これは、以前から言われていたことではあります。

「右」：確かに口がありますね。

「左」：口はありませんが、「工(たくみ)」があります。

左手にはモノづくりの能力があるのかも。

古代から、右手は食べ物を口に運ぶ大事な役目を担っているので、同じく、神聖な行為である「書く」という作業も行っていたでしょう。

書く = write(ライト)

ひょっとしたら、「文字」は右手、「絵画、作業」は左手の領域なのかも？

唯識論「全ては心の現れ」

「心の中をちょっと覗いて見てください」
と、言われ、目をつぶったら心は見えません。

今、目に映っているのが「心の中」なのです。

宇宙の果てを見てみたいと思ったことはありませんか？

簡単です。その時こそ、目を閉じてください。
その時に見える「光景」が宇宙の果てです。
つまり、宇宙の果てには何も存在しない・・・言い換えれば、
感覚器官が捉えようがない境界です。

ですから、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の感覚器官すべてを閉じれば
宇宙の外を「体感」できるということに・・・。

また、ひょっとしたら、眠って見る荒唐無稽な夢も宇宙と地続きなの
かもしれませんね。